

## 夏期キャンプの安全についてボーイスカウト隊のみんなへ

檀原第1団ベンチャー隊長

### 安全について

楽しいキャンプは、みんなの安全があって楽しいキャンプが出来ます。

事故にあったり、怪我をしたり病気にかかるとその人だけじゃなくみんなが楽しくなくなります。

だから、みんなは必ず指導者の指示に従い（特に海のプログラム）行動して下さい。

### 予想される危険（事故）と対策

#### ○ 熱中症

八木駅を出発してから帰るまで、この危険は存在します。

特に島で水のプログラムに参加中は、プログラムに熱中して水分補給を忘れがちになりますので注意してください。

のどが渇く前に水分を取ってください。

また、島には無料のシャワーが設置されていますので、シャワーを浴びて体温を調整してください。

#### ○ 列車での事故

八木駅から姫路駅まで列車で移動します。

指導者の注意に従って、静かに行動してください。

#### ○ バスでの事故

姫路駅から姫路港まではバスで移動します。

この時も指導者の注意に従って、行動してください。

#### ○ 船での事故

姫路港から家島諸島西島港までは、坊勢汽船の連絡船で移動します。

この連絡船は、かなりのスピードで航行しますので船内では、出来る限り船室内で座っててください。

#### ○ 島での事故（通常の行動時）

島には、は虫類はアオダイショウ、シマヘビは生息していますが、まむしは居ないとの事ですが、藪の中や槇置き場等は注意してください。

また、私たちが宿泊するテントサイトはビオトープという淡水の水辺近くで、蚊が多く発生していますので、防虫スプレー等を持参してください。

#### ○ 島での事故（日焼け）

熱中症の他に日射病等にも注意が必要ですが、真夏の海での行動には日焼けが付きものです。

夜になると、昼間の日焼けがかなり応えてきますので必要と思う人は日焼け止めクリーム等を持参してください。

#### ○ 水の事故

海でのプログラムが実施されます。

指導者4人が監視体制・水難救助体制を取りますが、水の事故は個人の体調や技量が原因で起きることが多いので

- 体調が思わしくない時は、我慢しないで指導者に言う
- 泳ぎに自信がある人も、浮き輪を持参する
- 水に入る前には、十分に準備体操をする
- 岩場で行動するときは、アクアシューズ等をはく
- 岩場では、泳がない

等基本的な事項は必ず守ってください。

○ 食事の事故

食事は殆ど自分たちで作ります。

新鮮な材料ですが、作った物は長時間放置しないで早めに食べてください。

また、無理に食べ過ぎず自分の適量にしましょう。

水分補給は大切ですが、逆に水分の取りすぎに注意してください。

以上は、事故のほんの一部に過ぎません、事故や危険はどこにひそんでいるか判りません。

これらの事を守るのはもちろんですが、「何かおかしいな何か変やな」と気づいたことは早く指導者に知らせてください。

君達が家を出て家に帰るまでの間、楽しいキャンプが出来る様にお互い注意しましょう。